

# コシヒカリ栽培

## 坪当たり70株植え、田植え後25日から中干し開始、出穂期

コシヒカリ 9俵どりの目安	
栽植密度	70株/坪
1株当り穂数	19本
㎡当り穂数	400本
1穂着粒数	70粒
㎡当り初数	28,000粒
千粒重	22.5g
登熟歩合	87%

※ 穂数不足により収量及び品質の低下が目立っています。面積当りの穂数を確保するために、70株、浅植えを行ってください。

**生育診断**

◆分施肥の場合  
【1回目】幼穂形成期から8日後（幼穂長15mmの時期）に生育状況を確認し、以下の表を参考に穂肥を施用し、葉色を4.2～4.5に誘導。

10a当たりの施肥量	葉色	草丈	幼穂長	追肥3号
【幼形期8日後生育】 葉色 3.4～3.7 草丈 80～84 cm 程度であれば追肥3号10kg	葉色が淡い 3.4未満	草丈 80cm未満	幼形期 8日後	追肥3号
	葉色が濃い 3.8～4.0	草丈 85cm以上	幼形期 10日後	追肥3号
	葉色が濃すぎる 4.0以上	草丈 80cm未満	幼形期 10日後	追肥3号
		草丈 85cm以上	幼形期 10日後	追肥3号
				施肥しない

【2回目】  
1回目から1週間後に追肥3号10～13kg/10aを確実に施用。  
※1回目を施用していない場合は、葉耳間長±0cmの時期（出穂の10日前）に追肥3号10～13kg/10a施用。

◆肥効調節型基肥（Jコートコシヒカリ）を施用した場合  
・葉耳間長±0cmの時（出穂の10日前）に葉色が4.0（砂壌土4.2）以下の場合、穂がちらほら見られる時（出穂期3日前）までに追肥3号を7kg/10a施用し、穂前期の葉色を4.2～4.5（砂壌土では4.5）に誘導。

葉耳間長±0cm(出穂10日前)  
止葉葉耳と第2葉耳が重なった時期  
重なった時 第2葉

15本/株 溝掘り  
10本/株 中干し開始  
3～4本/株 70株植

【中干し時期】  
・田植え後25日から落水し、中溝の手直しをする。

は種4/26 田植5/15

生育区分	育苗期	活着期	有効分げつ期
目的	健苗育成	活着と分げつの促進	根をより深く
方法	深	田水温を高め 分げつ促進	中干し 溝の手直し (田植25日)
水管理	水	浅	水
月	4月	5月	6月

## コシヒカリ 施肥設計基準

※適正基肥量は土壌によって大きく変わります。基準を参考にして地域により加減して下さい。

### 全層施肥

土壌	基肥	早期追肥 (田植後7日頃)	幼穂長
	基肥555	基肥555	
粘質土	14	7	
壤質土	17	7	
砂壌土	20	7	

### 側条施肥

土壌	「LP555-1号」 (kg/10a)		土壌
	基肥 LP555-1号	穂肥 LP追肥3号	
粘質土	14	15	粘質土
壤質土	17	15	壤質土
砂壌土	20	17	砂壌土

○高温年は出

# こよみ <JA米の生産基準>

## から20日間の湛水管理で品質の高い氷見米に仕上げよう!!

**重点ポイント**

ポイント1 **元気な若い苗づくり**  
・田植え日に合った播種をし、育苗中の換気を十分行いましょう。

ポイント2 **田植え作業の改善**  
・5月15日を中心に、坪当たり70株、1株当り3～4本植え、3cm程度の浅植えを確実にいきましょう。

ポイント3 **適正な水管理**  
・活着後は浅水管理、田植え後25日から中干し開始。田植え後1ヶ月頃溝掘り  
・穂が出たら20日間は水を3cm以上ためて、収穫7日前までは必要な水分を供給

穂揃期の  
10kg  
10kg  
7kg  
5～7kg

25本/株 無効分げつ  
幼穂形成期 22本/株  
葉色4.3 穂数 19本/株

最高分げつ期  
干しに入る。

肥効調節型肥料（Jコートコシヒカリ）  
葉耳間長0cm時（幼穂形成期後10日頃）に葉色が4.0以下の場合「追肥3号」を7～10kg/10a施用

【1回目の穂肥】  
生育に応じて慎重にかつ的確に施用  
幼穂長が15～20mmの時期に施用（葉色3.6）  
平年 7/20頃

【2回目の穂肥】  
土質に応じて確実に！！  
1回目施用から1週間後に施用  
平年 7/27頃

幼穂形成期7/12頃 出穂8/2頃 成熟9/11頃

無効分げつ期	幼穂形成期	穂ばらみ期	登熟期	収穫
張らせる	稲体の健全化	稲体の活力向上	根の活力維持	適期刈取
直し	間断かん水	飽水管理	出穂期から20日間湛水する	落水
後	7月	8月	9月	

(kg/10a)

穂肥	
長15～20mm	1回目の1週間後
追肥3号	追肥3号
10	10
10	12
10	13



ドローンの使用で高温下での追肥作業が軽減できます。

料」（基肥一発肥料）を使用する場合 (kg/10a)

側条施肥	
Jコートコシヒカリ2号	Jコートコシヒカリ1号
25～30	
30～35	
	35～40

穂3日前迄の追加穂肥を施用しましょう。(追肥3号 7kg/10a)

### 肥効調節型肥料 使用上の注意点

- 側条施肥田植機での使用に限定する。
- 肥効調節型肥料の施用は5月25日頃までとする。（それ以降の施用は倒伏しやすくなります）
- 仮比重が一般の肥料より軽いため、田植機施肥部の開度の調節を必ず行う。
- 分施に比べてリン酸、加里の比率が低く不足しやすいので、「けい酸加里入りJコートコシヒカリ2号」を施用する。